



# 中央聖書神学校 Central Bible College

## CBC後援会だより

### 祈りと支援に 感謝



中央聖書神学校校長

三宅 規之

尊い主の御名を崇めます。  
中央聖書神学校後援会の皆様にご挨拶申し上げます。日頃から後援会の皆様には、中央聖書神学校のために、祈りを積み上げていただき、そして具体的な支援をしていただき、心から感謝申し上げます。

本年4月から中央聖書神学校の校長という重責を担わせていただいております。

来年初立70周年を迎える中央聖書神学校の長い歴史と伝統、初代校長の弓山喜代馬先生をはじめ、長く教育に携わってくださった教師の方々、そして700名に迫ろうとする卒業生の皆様に覚えるとき、とても私のような者に務められる責務とは思えません。しかし神様にすべてを捧げた人生です。

で、このことも神様の計画であり、御心であると信じ、精一杯職責を全うさせていただきますと願っております。  
言うまでもなく、中央聖書神学校は、キリストの福音を携えて、国内外に遣わされてゆく伝道者を育成するために存在します。特にペンテコステ信仰に立つ伝道者を養成するという使命を担っています。

現在の日本のキリスト教会は高齢化の波にさらされ、ここ10年間で信徒数、教会数ともに減少に転じていると言われています。そのようななかで、聖霊の働きを強調するアッセンブリー教団、そして中央聖書神学校には、大きな可能性があります。一人でも多くの献身者が、当校で学びと訓練を受けられますよう、これからも是非後援会の皆様にご支援をいただきたいと願います。今後ともよろしく願います。

### 6年目に入った後援会

中央聖書神学校後援会会長

峰田 将

CBC後援会が信徒中心で運営されるようになってから6年目を迎えました。信徒の視点から中央聖書神学校を眺めながら、ささやかな支援



してまいりましたし、私たちの働きもさらにより変化を遂げるべき必要性を感じております。

いつまでも1%の壁を越えられずに推移している我が国キリスト教界ですが、今こそ大転換の時を迎えつつあるように感じます。ある意味で歴史の節目とも言えるべきこの時期に我々の群れから大きなうねりが起こされていくことを期待し、祈る者です。

中央聖書神学校も本科生の減少傾向はあるものの、逆に通信科で学ぶ学生が増加してきたのも近年の目立つ現象ではないかと思えます。我々はこうした現象に柔軟に対応する支援を進めていかなければならないのではないかと思います。

私達は等しく主に召された者です。それぞれの置かれた場でその召しにふさわしい歩みを、働きを求められております。皆様の建設的なご提案をお待ちしております。

# 中央聖書神学校後援会 通常総会

2019年2月23日  
午後2時30分～3時30分

会員総数

373名の  
内、会場出  
席23名、ハ  
ガキによる  
委任状出席  
158名、  
総出席者数  
181名で  
開催されました。

総会に先立ち、神学生によるワー  
シップと賛美、証の時間がもたれました。  
定時に至り、総会を開催しました。

松田副会長  
の司会進行  
で賛美と祈  
りの後、峰  
田会長の議  
長で議事が  
順次報告さ  
れ、審議さ  
れました。



議事は滞りなく進行し、すべて原  
案通り承認されました。

なお、議事として上程された新役  
員横須賀直人兄（中央聖書教会）の  
任用、顧問として、北野校長から三  
宅規之神学校校長の就任が承認され  
ました。



## 北野校長への感謝

総会の閉会を宣したのち、峰田会  
長から北野校長に感謝の色紙を贈呈  
しました。信徒が後援会のご用をさ  
せて頂き始めてから5年。この間神  
学校校長の北野先生にご支援ご指導  
いただきました。み言葉は北野校長  
先生にお決めいただきました。  
「一粒の麦地に落ちて…」です。



総会後には会場を教室に移して  
恒例の茶話会がもたれた。神学校  
の支援にあたる後援会でありたい  
と、それぞれが持つ熱い思いがご  
披露され、出席者一同感謝と共に、



その願  
いを分  
かち合  
いまし  
た。

## 新役員紹介

横須賀直人兄（中央聖書教会）



53歳です。  
家族は妻。

小学校3年生の  
時、教会に通い始

め、アッセンブリー一筋45年、岡山、  
広島、神召で生まれ、現在、中央聖  
書教会で仕えています。

仕事はハウスメーカーの広報で  
す。宜しく願います。

## 卒業生への記念品贈呈

2019年3月5日午後7時から  
第69回卒業式が挙行されました。

讚美、祈祷、聖書朗読、讚美、北  
野校長による奨励と続き、神学生の  
賛美の後卒業証書授与。校歌賛美の  
後、寺田神学校理事長の挨拶、北野  
校長から三宅校長への校長交代式、  
そして後援会からの記念品、同窓会  
からの記念品が贈呈されました。

峰田会長から、厳しく長い学業を  
修了された皆様の晴れやかなご卒業  
を感謝するとともに、この後のお働  
きに励ましとなるものと願って贈  
呈しました。（AG誌4月号に詳報）



## 卒業生からの感謝の証



十條基督教会  
伝道師  
中山 満

後援会の皆様をはじめ、全国におられる兄弟姉妹の方々にご挨拶申し上げます。

日頃より神学生を覚えてお祈り下さり心から感謝致します。また、尊い献金によって経済面も支えていただいていることを重ねて御礼申し上げます。

「…神の恵みによって、私は今の私になりました。…（1コリント15章10節）」とパウロが告白しているように、今の私があるのは神の恵みであり、皆様のお陰であることを実感しています。3年間の神学校生活において、感謝することができないような出来事が多々ありました。特に3年目は、体調を崩すことが多くなり、薬に頼らざるを得ない時期がありました。一週間ほど眠れなくなつたこともあり、生まれて初めて眠剤を飲みました。献身しているのになんでこのようなことが起こるのか：感謝することの難しさを味わいま

した。しかし、辛い経験を通してかえって感謝することを学びました。当たり前だと思つてゐることは実は当たり前ではないということ、全てのことには神の計らいがあるということとです。ヨハネ福音書において、「5つのパンと2匹の魚」を目の前にした弟子たちは、それらに対して役に立たない無意味なものだと言いました。しかし、イエスは神に感謝しました。全てのことには感謝する姿を示されたのです。今手にしているものや自分自身は、「5つのパンと2匹の魚」ほどの価値しかないかもしれません。しかし、イエスはそれらを用いて奇跡を行われたお方です。これからも、感謝して今手にしているもの、また自分自身を神の御前に差し出していききたいと思つていきます。

## 献身の召命から 後方支援へ



武蔵野基督教会  
岩本 章子

私と神学生との関りが始まつたのは、かれこれ65年以上前にまで遡りましょうか。当時小学校4年生で

したから、うる覚えのところもありますが、ご結婚1年余りの牧師先生ご夫妻が北海道に赴任された後、期ごとに神学生が派遣されてきました。その教会は、吉祥寺福音教会（現練馬教会）の前身であつた西高井戸教会というところでした。当時神学生だつた方々の中にはすでに召天された先生、引退された先生、辞任された先生がおられます。私を覚えておられる先生方は少ないと思ひます（先生）と私、1対1の教会学校時代もありました。

やがて、吉祥寺福音教会が献堂され、少し遠くなつて電車とバスを使って行くことに不安だつた私は、数カ月教会から離れました。高校受験で第一希望の学校に不合格となりました。しかし、そこに神様の大きなお取り計らいがあつたのです。第二希望の学校は電車とバスを利用しなければなりません。通学路のバスの中から「吉祥寺福音教会」が見えたのです。意を決して教会に行きますと、そこには西高井戸教会のあの方、この方がおられます。皆さんと馴染むことができました。懐かしい古巣に帰つた感覚でした。高校2年生の時、はつきり神様

からの召命を頂きました。伝道の書11章1節から4節「あなたのパンを水の上に投げよ、多くの日の後、あなたはそれを得るからである。あなたは一つの分を七つまた八つに分けよ、あなたは、どんな災いが地に起こるかを知らないからだ。雲がもし雨で満ちるならば、地にそれを注ぐ、また木がもし南か北に倒れるならば、その木は倒れた所に横たわる。風を警戒する者は種をまかない、雲を観測する者は刈ることをしない」。祈つていても、ただ一つ勝利できないことがありました。それは、人前で話すことが最も苦手なことでした。

直接伝道に就くことは出来ませんでした。新聞記事から事件・事故に遭われた見知らぬ方々にトラクトをお送りする伝道方法を個人情報が取り沙汰されるまで続けることができました。決して無駄なことではなく、後に教会に導かれた方もおられました。そして数年前、CBC後援会が信徒の手で運営されるのを機に、お手伝いさせていただくことになりました。私に与えられた召命は、形は変わりましたが、現在もこれらも神学生を支援していく方法で仕えて行きたいと願つていきます。

## 神学生に託す思い

東京アーバンチャーチ

酒井 勝



大きく減少し、在学生は寂しい状況と聞いています。

日本アッセンブリー教団は全国・教区の聖会の度に、牧師・伝道者となる献身者を募ってきました。私は聖会に参加する度に青年時代から何度も献身への応答で心動かされてきました。その都度「自分は信徒として用いられますように」と自分に言い聞かせてきました。しかし、献身できない後ろめたさを持ち続けてきたのも事実です。神様は私の最も身近な友人や息子を献身に導き、自ずと支援する側にありました。そんな中で、中央聖書神学校後援会への委員のお誘いがありました。

私の母教会は現神学校前身の聖霊神学院があった縁もあり、数年前までは、卒業神学生を招待して、鍋を囲み献身の証しを聞く機会を設けていました。

献身するためには、家族や友人の反対・経済的問題で献身が遅れた等、大きな戦いの中を通っていることを知りました。母教会では、教会の宣教基金制度があり、出身神学生に卒業後も支援を続けていました。しかし、後に知ったことですが、経済的に自立できていない教会から献身者を送り出す側の思いも知り、神学生に対して経済的環境差による学びへの影響は緩和したいものだと思います。

神学校後援会は神学生の奨学金に協力をしています。信徒として神学生に対する祈りの支援の他に、経済的負担が少しでも軽減できたら幸いだと思えます。

クリスチャン人口が少なく、高齢化で無牧や兼牧の教会がある現状だからこそ、神学生が多く入学し、より学びやすい環境となるよう、神学校後援会の働きが拡大されることを願っています。

### 後援会員募集中!

神学校の働きを支援する後援会では、奨学金授与を中核事業として校舎内外の清掃整備ボランティアなどの事業を行っています。是非会費を納めて会員となって下さい。

2019年 中央聖書神学校後援会 会員 会費納入状況 (2019年1月～5月末現在)

(単位:円)

会員区分	会員数予定	会費収入予算	会員数	会費収入実績	計画比
法人会員	7社	300,000	5件	240,000	80%
教会会員	50教会	1,100,000	22件	425,000	39%
個人会員	280名	1,800,000	144件	1,045,000	58%
賛助会員	50名	100,000	18件	31,000	31%
合計	387会員	3,300,000	189件	1,741,000	53%

### 後援会日誌

- 2月23日 総会
  - 3月5日 神学校卒業式にて記念品贈呈
  - 3月31日 CBCサンデー※
  - 4月2日 めぐみ福音キリスト教会神学校入学式に参列
  - 4月7日 CBCサンデー※
  - 4月28日 中央聖書教会
  - 5月 関東北東教区聖会にてアガペー三田キリスト教会訪問
- ※CBCサンデーは神学校のフェイスブックに映像を掲載中

### 寄稿のお願い

後援会に対する希望・要望・提言・苦言・意見、なんでも結構です。ハガキ、お手紙、Eメールなどでご寄稿をお願い致します。

発行 中央聖書神学校後援会

所在地 〒170-0003

東京都豊島区駒込3-15-20

TEL: 03-3918-4925

Fax: 03-3918-4064

E-mail: cbc@agj.or.jp

編集 後援会委員会

印刷所 ベーテルフォト印刷(株)

発行日 2019年6月22日

